て動策を講じたいさ思ふに化しはしないか、これでは、は大の対策入さして科学の火災、我々財装入さして科学の火災、

執政差遣

0

傷病兵慰問

使の日程

着。十一月一日新京 **政**島州 山海陽朝陽。承德。平泉。 古北口、粤寧 全魁間十一月 十三日歸京

官理規則が反

になるであらうが、内地に比本案の實施で商賣人等は窮窟

中、移動米に飲き広地に於て貯蔵す

茂の負

今回のものは暴騰をも防

思惑ご資本の國外逃避を防き

海教 政は全 禰 各地の日 禰傷 場より石丸中路。 徳原、 金純 棚硯農各侍從武官を派遣され 棚田衣の勇士を親しく見舞は るれるこここなつたが一日の

新原传で武官、淺端軍院官 十月十日新小競吉林、島子 十月十六日公主嶺賦問、十 月二十六日新京藝四平街、 翻家屯、洮南、泰東、克山

二日嗣京

島車縣兵を駅間のだめ十一 の石丸中縣は崩洲事變で係

機よりさなって居 原間のため十一月 皮病院に人院中の

のにあるのだか

古田廉三郎氏談

必要であるさ考へられてのた (以前は暴落阻止の低のみに の要であるさ考へられてのためを がある。

一、水稲作附面積の減少する ために朝鮮では棉栗。大豆 を耐は甘藷栽培を襲駒し之 がために保障金を変削する がために保障金を変削する

瀋海線

日よ

銀の手篙をしたさする、所が

解されるやう印刷物でなり、も取引人方面へ充分内容が諒

に東京七九日登場通り に東京七九日登場通り に東京七九日登場通り

演でなり鑑力する稽りであ

一乗副所長談 財務局で立案したもので、何 などあらうし又取引所常局で であらうし又取引所常局で

制原案に對し農林省の米穀等

統

領事で會見

佛國奉天總

拓務省

正条を

なつて居るがここは日貨ばか理法さ降つて萬事許可主義に

に窮屈な事だ、勿論本朝の管

りでなくの國貨が日常の筋

いので、果してごんな影響を だ鏡鈔取引に影響を與べてる ない、規定をまだよく研究し てるないしまた疑義のある字 での解釋もよく利明してるな が、規定をまだよく研究し

針を説明し氏さ長時間に亘り

氏さ長時間に亘り鶴談し我方佐藤全権は二十七日デヴィス

の領想したものよりものまっていれません。

管理規則を一瞥して先づ氣に

少の不便は発れないだらうきをさらぬはならぬさ云ふ多

總鈔信託常務

軍縮會議

本は陪席的態度を執る

大潭五品代行株式會

るか、この方面に最も密接

響は質

るたよりも錦窟な規定であつないが概して私共が豫想して

否の権利は留保する は参加せず、陪婚の態度を に参加せず、陪婚の態度を に参加せず、陪婚の態度を

ドリヴィ

I

氏

3

本案實施費は一般自計で

ないが概しても

為替管理法實施と その影響如

關東州內及附屬地

れる事まな関係を

を完全

に遂げするさい

ふ見

日本内地の管理法本來の目

から前請會でも問題になつ

は非常に注意されて暑た。こりわけ實施區域の滿

る。果して之が實

るから従つて資本の海外逃避 取扱つて居たものもこの規則 も従來自由に銀の賣買が出來 いのでならうかご考へる、尤 家にごつては大して影響はな いのでならうかご考へる、尤 来無利限に関貨の海外送金をの思惑が除去されるだらうしまた我々銀行業者から見て従また我々銀行業者から見て従 を防止し得るこさになるだら して緩和されてゐる點があるのは滿州、親東州の特殊事情を参酌した結果である。 は不られても良いたらう、一般に未に公布されたはかりで充分內容を検討されてゐないので、之からお互に研究して見 香。取締方法の電否を謂へる 常期間評過して後初め案の良 能計してるないので何さも言 にないが同案が實施されて相 ませり云々 でない愛質がある。それをし、出來ないき言つても良い

くなるさは言へない、環境の然上つたりだ、同案が實施さ然上つたりだ、同案が實施さ れる。之を要す いふ取締方法をする

れる。之を要するに實際上で、何では實施嗣より却つて烈し

用せか の米製移出の許可制度は採 「東京仕九月菱國通」二十九日に繰越された日報帳尻によれば、貸出は月末金融市場繁忙のためコール回收を受けたで金に對する貸付増加を韦因とし二千七日六十萬八千圓のさし二千七日六十萬八千圓の

「本夫二十九日發 頭 通」二 十八日飛行機で來奉した佛國 で同時に佛國機関事館を訪問 さしての意見を述べ同日午後 し対満投資に関する投資者開 中九萬二千圓ミ再ひ八億門を 中九萬二千圓ミ在ひ八億門を 中間を減少したので兌換券型 行高は二千百四十五萬六千圓 を増加して十一億二千百十七 を増加して十一億二千百十七 って着へ込んだっ

師範 西で

南

月時 謝刻所

魔城子ポルド、

ーワ家

御相談の上

ボルド、ノー教師佛英學院卒業

ワ女史

は二十九日 も引書増加するもので観られるから昨年六月以 陸の最高記録ため九月一日の 二億二千九百萬圓を突破の見 多知で漁りてある問島の暗き な餌を漁りてある問島の暗き かった、清いの川尻のところかった、清いの方から吹いて来る風はだったの方から吹いて来る風は

なが晴れー

大質はふゝんといつたやうに弱 を の先で笑つて。

それちやあひと

つ僕がこのむづ

しい鍵を解いて見せやう

総裁、山崎理事を投資に顕し より帰連した八田靖鰕副 より帰連した八田靖鰕副

「奉天廿九日霞城疆」 液胆酸 「奉天廿九日霞城疆」 液胆酸 貨物運賃を金票收入に變更 就ては翌日分を前日中に電料 のである しかし大質はからした沈默

△第四組 安東。連山福を北部・ 河を慰問十月二十四日時京中月五日新・菱佳木斯・菱 張硯農侍從武官。 連山脳を慰問十一月 須水軍器 解くのがその役目なんだ。い 戯曲は一けないぞの戯曲家であ、君にはまだくほんとの いっことに一人の別と二人の ある。君にはまだくしほんとのことを謎だと思つてゐるやう つばり僕の言葉を歴だと思つ その謎めいた言葉を續けた。 るのかい。しかし供のいふこ はしい笑な際を立てょから、場へられないやうに、やよう

と、英一は始めて顔を上げて な板な離なんだせ』 の能を解くのももう直だからこ を認めたと見えて思はず大きく小げなが窓岸の方に何ものかの 英一はさらいつてからはひはつ れがこの問我のいつて

よっしかも僕がこの謎を解いた結めのか。僕はきつと解いて見せる うん、解けるなら解いて見たま 解けないことがある 東郊。大朝兩新聞計發輸別師政府会報取扱 東京。朝日新聞販賣町 大端歇新聞

なあに

と君の日の前に見 | 「新足新聞舗 | 新日舎





電家







本研期開時 教資 が期開時 教育 が判問 日間 材格

(土) 日至月九 念 值 一 營 会三结 第 稅 一個月 会八寸級 第 稅 一個月 会八寸級 新文林鄉町四丁市一部的 教行所 教育自日新聞報 表想三二三章 三三〇〇會 發行人 十 河 榮 息 印刷人 谷 野二郎 銀器

5275

が施売が

中
合
時
打
信

たが佛蔵機可多に同氏は右倉に記さ仄削するに同氏は右倉に記さ仄削するに同氏は右倉にご於て相當具体的な投資案を提示し諒解を求めた模様でを提示し諒解を求めた模様で

はないからまさも書への。案の目的は商賣人を苦しめる事ではないから無理な取締りはを ないこさは言ふまでもない。 ないこさは言ふまでもない。 ないかごうさも言への。家は、質際的の商職が同気 收獲豫想一回 千八百二 **九萬餘石**

にはっまるでは見たいな言

いっこの大胆はちらとその色が

そんなことには

がつてゐる

によっちとその色を見て取っ の値」とげな色が渡ってみた。

高。右豫想高は近來の豐作さ で一副一歩七厘の埼收率に常 で一副一歩七厘の埼收率に常 で一副一歩七厘の埼收率に常 (京城二十九日韓國通)朝鮮 周石に次ぐ記録的増収であ 云はれ昭和11年の千九白十

さは仲々雖しいごころぢやなが思惑でないか願り分けるこ

もごこまでが思惑できこま

ドッノ會社で建造中であつた。 (横須賀世カ日鼓の事) 浦智 (一、四〇〇順)は艤災愈々 投海軍の新起編逐終「チノ日」 驅逐艦『子ノ日

四〇〇順)は織物念々

に引渡し、横須鎭守府艦籍に に引渡し、横須鎭守府艦籍に 一十九日繰越 日銀帳尻

れてしまつて精章の葉をむし 第一は大質の話を聞いて が かや と 関 は い と こ が か と こ で は い と く 質 面 目 に 、 大 質 は ひ ど く 質 面 目 に 、 す と で が 的 に さ ら か た な あ 」 さうだよのあればスペエトンが同き出すからしてのためであないよの事態カルタ 目には、まるでカ ブかなっ の葉を、引き我くやうにしてといつて自実にそこらの 鬼に角赤い日のク が、その手付が

では、1、1、それが利つてあるとのに君は何故その謎を解かないのとのに君は何故その謎を解かないのとのこれに立つてる以上、その他の謎が解けないやうち とば川州ないよっいや、僕ばから この謎は僕にはまだ中々 やない、これまで謎もこの謎を 解くこ 成人 野名人用 頭人

電四七五九番馬揚紙凾工場電七五二丁目十四番地

は何時までもほとして限つてゐると解けてゐないのだ。こ 解いたものはないちゃない まり何時まで深つても問り切れな 同じことで、解いたかと そんなに解きにくいむ 四丁日電信三三四一番(呼出) 完定波文 は御希望に成り批完に御預り致します椒ケ枝曲

福久 前花 北 春 橋 株 八 前 花 玉 一 春 橋 像 法 在 泉 旭 春 橋 像 法 在 泉 旭 春 親切な薬屋は 央藥店

作品 (単一年) 本金 三一年 (本年) 本金 三一年前十二年 年 (本年) 本金 三一年 (本年) 本金 三二十 (本年) 本金 三十 (本年) 本金 **電話三三八一番** 迅出 B 初めます

前 電話 三四元 幕

初學ノ方(男女無關)
自午後七時至九時迄
十月四日(申込八三8克)
一十月四日(申込八三8克)
一十月四日(申込八三8克)
一十月四日(申込八三8克) 社

究員募集 語

本本人みまで活三三〇〇合 B 東四條領出四番地 《 高級主宅二皆建四 八〇 中 歌地三百四 時 中 地 名 在 社

(高根秀浩高)

英國製高級煙草

質的には頗る良好であるが播本年度の農作は例年に比較し

「ハルビンニ++日蛟崎) り氏は裏に北壁皆桝空紹庚氏に耐し福洲間側がボグラニチナヤ驛の貨車直通を何時まで を無視したものだこの見地から即時解放を翌楽しま来てる を無視したものだこの見地から即時解放を翌楽しま来てる

類の量は確めて僅かで殆んで下に收穫に從事してゐる地方下に收穫に從事してゐる地方

はが、べ、ウの飯童な監視の種面積は著しく縮減され農民

てソ帰側の猛省を促すさ

ある。ウクライナカ面に於る 海州イマン方面に護送されユ である。

し、ウクライナ方面では関ヤス補は細か上にもその際に選氏の

は自由に出来ることになっ は自由に出来ることに対する を返還しないここに対する を返還しないここに対する に於ては第初より積料連絡

衝突事件

に関する聲明

九月三十日午前十時半日

東軍司会部發表二

在河北省部隊歸還

五日の黒河上流に於於江方處 文部北端特派員公署は去る世

や、軍は迷に兵を骸ね長或の

ものたり、 乃る軍は会正なる

若し夫れ武力閣体にしてい

じて許容し得ざる所の

態に復歸すべきや、論を俟な外に撤退せば、軍は直ちに御

論を俟た

行動にして、彼にして協

むなきに至りたるも、これ 部の軍事行動を準備

に至つたは終來再び支前側に至つたは終來再び支前側に於て方張武軍其他の難軍に侵入せしむる如きは編束に侵入せしむる如きは編束に侵入せしむる如きは編束に侵入せしむる如きは編束に侵入せしむる如きは無束にして迷惑至伸である支

嚴重抗議 滿洲國側

行動は、終始一賞厳正会明なることを聲明す

曜

(日

してる

貨車連絡封鎖に對す

聯抗

和

在河北省部隊歸還で

に進入するが如きここからは に進入するが如きここからは に進入するが如きここからは でも、断乎さして之を排録

關東軍が聲明

再び協定地區に侵入せば

断乎さして排撃膺懲

右聲明に附し鞭東軍幕僚は語

語る

關東軍幕僚

に對し、共に撤退を要求して立場に於て、協定に則り而者

「ハルビン二十九日後崎町」 「本き生れ出る前は蒙古キロンバイルは人跡未踏の端方もあったが領域家樹立以来日満への足跡が印せられない地方は最早ほさんさなくなつた。三段早ほさんさなくなつた。三段平ほさんさなくなつた。三段深くで異安警察局員は妻子を連れてはがらかに赴任して

ルシャ、沙海の電点生か二名居住地) 本外務省の電点生か二名居住地) 本外務省の電点生か二名居住地方は 然に及んである、本年四ケ年振りでは 然に及んである、本年四ケ年振りで を 一には約二百人の日本人が視力は 然に及んである、 著名な温泉 場所近で夏季 非常に便利になつてある、 来たが差額りこの冬は狼狩り か 変融の 興味を惹くだらう

使役する事さなりこの程このを入營せしめず兵役年限たるを入營せしめず兵役年限たるを入營せしめず兵役年限たる

B)

及ひ軍需品の輸送を機秘に附 労働者関体」さか軍需品の輸 労働者関体」さか軍需品の輸

「ハルビン二十九日建憲語」 ・ を離話し、 協回方を要求した を職断にソ聊人を住命した件 につ今満州戦側はその不合理 につ今満州戦側はその不合理

に對しソ帰側はあくまで自説 を固執してゐるので森田交通 の典部に報告し、今後の對策 考究のため二八日飛行機で急 議新水に向つた

(大連世八日崎國 地)大日本融 全社は関東州に韓田を持つ であるので毎年春秋二回事 であるので毎年春秋二回事

效案成立せば

時十分無錫に到着した。
一時十分無錫に到着した。
一時十分無錫に到着した。
一時十分無錫に到着した。

○横須賀二十

路開始の

海軍機舞鶴着 九点《國通》

會議中現行條約有

も大分やかましくなつて來業視察に來ます、鹽の問題

以後に於ける現行日印通的條一旨の英國政府の回答に爾足せ(東京廿九日發國達)十月十日一約の効果を一ク月延長すべき

務常局は有條約の効力に闘すんさする情勢にあるので我外

拘束を受け此條件が今後新物額の職税率の外我國に必

係約へ影響するのは明かな

公文交換の形式

結につき内外に多大のセンセン脳常局は陸崩赤軍の極東集

聯側獨斷で

被拘留者四名の後任を決定

を捲き起してゐるの

る一番人工の談に依れば

強制勞働に服せしめられる

の都度ゲ、ペ、ウェ小競合を 演じ物情騒然たるものがあるが、斯らした不平分子は片端 から法律を無視して晦刑に處 と追吹され且つ財産は没收されてある有様である、ウクラ れてある有様である、ウクラ れてある有様である、ウクラ も自し途に餓死する老若男女も あり、時には肉も小麥も無き は木の葉、草を食物代用に喰 よ農民もあり物資缺乏の片田

「而して生活権を擁護せよ」ばかりで「バンを與へよ!」

[シムラ比八日の國通] 三十

一情忠 の念は急角

流州國内に避れて來たさ云 途中護衛兵の隙を狙つて脱 途中護衛兵の隙を狙つて脱 をを企て九死に一生を得て

意を勧起したるが、これに對 は報告に接してるないが真に は報告に接してるないが真に 関査し、何分の應答をなさう

日の第三回會議にはボーブ商品の第三回會議にはボーブ商品を開盟は今ロンドンで交渉中なので多分三十日何さか優中なので多分三十日何さか優別の窓々中心問題に觸れて來ると観られて居る、即ち現在問題たるは綿布の七割五分關税

提案を爲す筈で之に對し印度 の印稿の不質中止を申出るさ を成文化する新綵約の取締 を成文化する新綵約の取締 を成文化する新綵約の取締

像も及ばぬ實狀にある

大日本鹽業重役

一宮氏來連

新

國内の食料缺乏で生

同樣

綿布七割五分關稅の

下げを要

日印シムラ合

憲に対する怨聲は巻に満ち が6の生明獄の蘇を呈してる である、從つて最氏の官

環の艦大同及びソ聯節が上 はしば斯の事件の機関事を訪問、事件の内容を はしば斯の事件の機関するは はしば斯の事件の機関するは

「ハルピン 七九日 発展通り の元 電優多数を集中して 自豪、電優多数を集中して 自豪、電優多数を集中して ではれてあるが、富農の故 ではれてあるが、富農の故 ではれてあるが、富農の故

背 聯監事か 部 満洲國から 發 ら抗 蹴せられ

管理局員四名の單獨告簽に親し陳克正監事長に對し口頭ソ聯側監事マゴン氏は先般。崔榕核局長の爲したるソ聯(ハルビン世九日醴線通) 世九日富 局競表=世六日北郷 を以て内容左の如き抗議を提出した

へ利

3

見

抗闘を陳監事長に提出した、これ等ソ聯側監事の抗議に又二十七日ソ聯側監事二名の連名を以て文書に依り同樣等の消告なく單獨に鐵道調員を告鞭せるは不法なり崔榕核局長は監事會の同業及理事會、管理局々長へ何 監事會の組織は理事會の

正訓課長を有する

一明組織な し陳熊事長は次の理由により抗議文書の受理を担否し

> りさの抗議に對し現打備洲國事訴訟法第二百二十一候抗議女を提出するの権限をし、又監事長の告養不法な出提權はあるが、除事長さ同等の地位に立ち監事長に共に監事長ある故にソ聯則監察會議召集に當り翻案提共に監事長の る院事長の告襲は正當にしてソ聯側より抗闘を受くべ務員告發い義務をも規定してゐる故に右に基言僞したは何氏の告々權を規定する、又同第二百二十二條は公

聯依然と に兵力を集 を撤退した さ一蹴したる所ソ聯側監事は我に利非ずさ見て直に抗闘 き何等の理由な

上半期の 配當

大分 一厘强 (東京二十九日号國出)大蔵省銀行局調聯全國銀行六百十八行の上半期成績は平均配當六分一厘强。大體過去二三期同様である、大蔵省の警告により増配せるもの一行もなく配常復活は十三行、減配は二十四行であっ

參謀本部 渡少佐來滿

天、新京等視察の上、山海観をびん丸」で夾満したが、奉るびん丸」で夾満したが、奉るびん丸」で夾満したが、奉るびん丸」で夾満したが、奉

な處进、

下さい

△外交方針要網

で支那の今日の女良となっ ・満州町の健全なる發達に 必要なあらゆる支持協力を の要なあらゆる支持協力を 適當の方策を調するここ 共存共榮に至らしめる中う

ロシアミの諸懸案の適正

他域の権益を損はず我の安化、日英両國の権統的友交製 さうですがき社は今の所備 持つてるません、製鹽事業 持つてるません、製鹽事業

聯盟脱退後の外交方針に関す の政務調査管に黨請さして附 の政務調査管に黨請さして附 黨は午後二時か6同五時まで(東京二十九日韓國通)民政

一、外交の重點を選民經濟の

無し、但し艦船の行動は人 の保護に限り財産に及ばす からず陸戦隊上陸の際要 があれば他別人の保護に任

家、實業家或は女士、新人等のもののある民間の有力なの治を民間の有力な治療を表現民間の有力な治療を表現民間の有力な治療を表現の対象を表現の表現の対象を表現の表現の対象を表現の対象を表現の対象を表現の対象を表現の

明のもので成れは頗る注目す。 は保維持に薬品しに事は劃明 ののもので成れは頗る注目す

海外經濟

で決定の民政黨々 り北支に入り帰京の豫定 (A) 2の永久は障礙立に常に対

日米

感

情

副

田外相が乘出す

形式的な條約なごに據らず

民間有力者の來朝院察を勸說

新外交方針要綱 長に緊急命令

「東京世九日磯西通」確實な を前よりの情報によれば襲に 大切海軍長宮スワンソン氏は 国下キューバの在智民保護の ため派遣されてある各艦長に 野し緊急事態發生の際には政 所の指揮を仰ぐやう命令した が、今回更に足の如き重大命令を追加する處かつた 素合は各艦長は自己の自由 場合は各艦長は自己の自由 場合は本の性のに對する危險 | 「夏を思 | すべきもの | 一夏を見 | あるに鑑み | あるに鑑み | あるに鑑み | であるが、日 | では日本取府間には何等 | であるが、日 | では日本で計画には日本に当する認識不足し兎角圓浦を快く 華府會議を前にして表だ ・悪化し一九三五年の第二次 ・無京州日發國通〕満州事變

明的聲明を貸した趣であると釋手態の推移に備へんが留めて下渉さは全く別値であるを釋りしてあるでして

これを日印展國政府間に於ける公文交換の形式を貸す答であり、その場合右は楊密院のあり、その場合右は楊密院の御諮詢季に暫定極めに勝する御諮詢奏に関する御諮詢奏に関するのはは「一人」という。

存績交渉と 英國側通告

く 年印電局 5 接衝しつつあり 財間中に限り有效な6しむべ

「東京三十日 愛媛東 の日中 値は、十月十日で 競楽の日中 値は、十月十日で 競楽の日中 だが 英端側の 真意左の 如し 一、 井一月十日 を か は 目下松平大 に が 英端側の 真意左の 如し 一、 若し出来れば 其後 通 富の 明間 の 條件 は 十一月十日 を シュラ 自 的 で 新 に 朝か で 様 件 は 十一月 十日 を シュラ で 協議の 諸種の 條 件 に 一 ク月 存 綴 か で 様 件 は 十一月 十日 を シュラ で 協議の 諸種の 條 項 に 基 く 右 「 適富の 明 間 し な い ま ば 明 か で 様 件 も シュラ で ら い ま ば 明 か で 様 件 も シュラ で ら い ま ば 明 か で 様 件 も シュラ で ら い ま ば 明 か で 様 件 も シュラ で ら い ま ば 明 か で 様 件 も シュラ で ら い ま く 右 「 適富の 明 間 し な は 現 で な い ま く 右 「 適富の 明 間 し な は 現 で 様 か と は ま く 右 「 適富の 明 間 し な い ま く 右 「 適富の 明 間 で な い ま く 右 「 適富の 明 間 で な い ま く 右 「 適富の 明 間 で な い ま く 右 「 適富の 明 間 で な い ま く 右 「 適富の 明 間 で な い ま く 右 「 適富の 明 間 で な い ま く 右 「 適富の 明 間 で な い ま く 右 「 適富の 明 間 で な い ま く 右 「 適富の 明 間 で な い ま く 右 「 適富の 明 間 で な い ま く 右 に よ れ は 現 で 様 に ま く 右 「 適富の 明 間 で な い ま く 右 「 適富の 明 間 で な い ま く 右 「 適富の 明 間 で な い ま く 右 で は 明 で な い ま く 右 で は 明 か で 様 件 も シュラ で は 明 か で 様 件 も シュラ で は 明 で な い ま く 右 で が ま る で が ま く 右 で が ま く 右 で が ま く か で が ま く か で が ま く 右 で が ま く か で が ま る で が ま く 右 で が す と か で が ま く 右 で が ま く 右 で が ま く 右 で が ま く 右 で が ま る で が ま と が ま か で が ま く か で が ま と が す で が ま と が す で が ま と が ま ま と が

(シムラせ九日發國通)新選 動と印度側は原則さして同意 したが、外交権無き印度は之 を如何なる形で存績すべきか に就て决定する能はず、英本 では、おり回訓なき事によるもので より回訓なき事によるもので より回訓なき事によるもので なる覺響を貸すかの形式問題 なる覺響を貸すかの形式問題 なる覺響を貸すかの形式問題 なる見響を貸すかの形式問題 爲でない回訓未着の

注目される 日英當業者

本問題に進むものご見られる次回は新除約締結に翻する根本問題に進むものご見られる

英國當業者代表

隔点なき懇談を含す留で、其 特果は所謂常業考會台さ性質 を異にし質質的討議を為す譯 ではないが此結果は直6に政 所受渉に何等かの影響あるも たら協夫と 代表の會見 形式で左のステートメントをのクレアレイ氏は夕刻談話ののクレアレイ氏は夕刻談話の **侵表した** 聲明を發表

自商延期は 忠賢に從ふこさに出来ね、
おいまする登録に思けられて居る總での
はこだでは四何なる協定からに於ては四何なる協定からに於ては四何なる協定が 側さ一さ先づ話をした結果との含めにボンベイで印度をの含めにボンベイで印度をのこれが、

第回

の人が表現の人が表現の人が表現を

▲上海

本向

第三回 第二回

て苦る、我等は更に此會議を得たならば誠尊を以ておを得たならば誠尊を以てお

出安岛引 大連上海向

互に協力すべきものさ思つ で居る、我等は更に此會議 の成否如何は關係者のも思つ のみならず、國際間の極渡 ありき信ず 製造を壓迫せず

後のして、メリヤス超税を引く、19マス製造業者は日本メリンリヤス製造業者は日本メリンリーのでは、19マスが打撃を

第一回

10至 九二

新京市战

三九あ

二一<u>二</u>二十現 月月月月月 限限限限 二一<u>二</u>二十現 月月月月月 限限限限

二九

粕

★大連金鈔票

111400

十月二七日限

★上海倫敦向 本上海紅育向 一志二片二分十 質値 一志三片二分十 同時代分量 一志三片二分十 同時代分量 一志三片二分十

出土九現 來月月物 祸限限

一生工月月日限限 100年

先當現

七五三一十十現 ▲月月月月月 ● 上限限限限限数系 標

先中富

先二一<u>二</u>二十 ·月月月月 限 限 限 限 限 限

大阪三品

一面印度に於て綿メリヤスの造のみで日本のやうに安い綿を入りてみは造らぬので何等系メリヤスは造らぬので何等 かっを如何に儘管するか油断 業助成の立場に在る印度政府 製造業が印度で考慮されて告 ||濟||欄

▲大阪株式

各地市場

第二回

たさ云はれて居るが印

、決して情質に捉はれるな

最適任者を選びませう

誰を選びませう?

新泉人には相當お馴染の別か で人好きのする性格、同業者 始め一般からも明守されるさ ころで、一度高點で上つた經 融者だが、しかし今度の出陣 は全くの出直しさいつてもよ

したる情勢を報告し今後の採るべき對策に付領重然闘を第したるが其結果

日本橋通六〇

たが「安心は禁物」とばかり大最初は比較的樂觀を襲つてる

代理時得丸助太郎氏

千鳥町一丁目三

丁手八丁さいよか。多少やり のでその監想観に及ばず今の でその監想観に及ばず今の まころ相常高點で営選する見

には遠ひないがごの程度に 惑通りにゆかぬもの。果して

吉林で

會

同林業成立に反對

るものであらう

日出町二丁日八

能者加藤金保氏

緊急役員會を賭僚、席上赤池の新京木材業組合は二十九日の新京木材業組合は二十九日の東京本村業組合は二十九日の東京によ

るかで一般には極めて興味

0

久しく誦餓にあって貨物助役

地委選舉

-

は

材料商伊東正夫氏

一般投票者各位の参考に供してにその人で成りを紹介しての人で成りを紹介しての人で成りを紹介して

えるであらう。ことに更めて なく。ことに最後のゴールに

退こでに過去一旬の猛奮闘 してゐる。各候組さる一推 してゐる。各候組さる一推

つき樂観をつぐけて來たが特 を候補の動機さもいふべきで をは大變だ」さいつてたのが

つでけて來たが大勢は既に決

にかけて尚ほ多少の切崩しが

最後の五分間でいづれる濮圏 かなりの苦戦を演じてゐるが かなりの苦戦を演じてゐるが

しては別にあせる必要はあ

に接した人は必ず

さすがに苦勞人だけに**一**變氏 たが官僚臭って歌座もなく。

電選は確實。 総對に間違ひが 相當の勢力を持つてるるから

6根を張つてゐるりへに地方

して新京も随分古らか

一見期かな性格であるがロハまいさいふのが世間の評だい

周圍の評判は實に香ばしい

の力前の得票が相當あるうそれにそれらの人々を通じて編 人方顧にも相當働きかけてる るからうまくゆじばお手拍子 場保養高點で優勝するであら が世の中のここは世間の思

選員

委員選集

受員さして蓋し第一の適任者 事情に通じた點に於いて地方 事情に通じた點に於いて地方

た のるさのここだが、選事なり羽振りのよいこころを示なり羽振りのよいこころを示する。 満人

料護士 沼田勇氏

友人知己か多いやりだからこ を入知己か多いやりだからこ が問には同じ一系又は東大出の が問には同じ一系又は東大出の が明は断然よい、中央銀行を が明は断然よい、中央銀行を

か雷選は出來るであらう ・ 今一 歩頭張ればごうに ・ のる、今一 歩頭張ればごうに ・ のの、 一 歩頭張ればごうに

最終日

の三十日 して最後

環が寂れるやうなこさがあつ

縣人で人間さして最もよく出特果さしてごんなるのか岡山 大原氏についで評判はよい

古強者だ。出間の評判は死も代別薬助崎仙英氏

常人それが自慢で「俺は運動 無風狀態の流域地帯だけに活 無風狀態の流域地帯だけに活

中央爾廿八番地

C

久しく警察官さして官界に 数ある候補者。中で第一任

來た人だ。この意味におい

よ 列車 明 車も運轉

▲ 鳩 大 数を増した事等が目立つてゐる。今を滿台線の新グイヤを記せばたの如くである、世間帰聞の軽油動車運轉回は從來教化に「泊したのが直当したため一日で北鮮暖道の連絡が良くなつたこと。中間帰聞の軽油動車運轉回六時三十分の二列車増費、各列車の二十分乃至一時間十分の時間短縮、境鼓列車の吉林直通。京闔線にあつてれるが、今回の時間改正によら主なる事項を乗ぐれば新京大連間の上り新京費十一時三十分及び下り新京管十つて作製された、満城及、遠域の改止列車運轉時間はいよく、十月一月から北磯を除いて、条滿一濟に實施されるが、今回の時間改正によら非なる事項を乗ぐれば新京大連間の短縮、連絡驛の草一化警機多の劃別的配鉄を作治安確でによる新線の夜行運轉、スピードアップ、連絡時間の短縮、連絡驛の草一化警機多の劃別的配鉄を作治安確でによる新線の夜行運轉、スピードアップ、連絡時間の短縮、連絡驛の草一化警機多の劃別的配鉄を作 天人六七三二五元天連 800景を四古の古殿京 京本 四半街 (FO) ▲印象行

チンクローで、 三两三 東門で 三元三 2005 005

精算あす

一勢は

す

テリ方面に窓のな投票があるかも知れないがそれも決して

老松町十六番地

官、教員なご厳止公司のない憾みはある。

軍部醫察

教員なご厳正公平なり

いうへに運動も深刻に入つて何分新点ではまだ顔馴染もゆ

たか夜1も眠らず頭りに活倒いない。御ば入もそれに気付い

各候補最後の猛奮鬪

500年 本本語 東京 100 元 100 發 で 1000円で 100円で 10 連響

크미노커·녹지지 맾 # 8 명 명 등 등

10°C0 1元110 1页00 吉林安 11 里 吉林安 11 里 同 10°00

五、旅客の動き及其の他の 六二列車の客扱及第二七

間及老頭講延吉間に軽油動 「復頻繁なる區間朝陽川陽們 車を運轉利川客の便を闘

充實を闘つて居る網係上本年先闘対車を先行せしめ蜂婦の

旅客列車には裝甲車を連結しある、因に吉長吉ツ鐡路では

年天 | 荷原産 製品量 古林音年天 | 荷原産 製品量 古林音年天 | 荷原産 前島領書 | 11*10 | 1*10 | 1.50 | 1.50 |

かはるやうなこさはあるまいかはないから似況は決してよいわばいか無論常選にはか かはるや

ほごの熱心家である。特産関 さずがは日頃評判もよく地方 随分出遅れて出陣に及んだが 委員さして本質時例會を強じ て十九回全部出席しさほした 千島町一丁目一五 特產而上田賢泉氏

一時の興奮狀態からさめて最後の猛運動、ごうなるか今の

り、誠に熱心なもの、本人もして天命を待つんだ」さばか

してるたのを周圍が承知せず何はさて本人は最初から断念 るすがは老武者一般の世評も氣遣はれるものさへあつたが 手体つて悠々宮廷しやう て果してさんものかさ最初は 無理やりに出させた観があつ

▲講演

然し河分が準のこさでもありのは佐藤。伊東氏らであるが かけて猛運動を始めた、その出選れたでけに一層へピーを 中央通血番地 甲斐があつてごんく兵をす 遅れたでけに一層へピーを放館業 五味武太郎氏 め今ではかなりの効果をお



たつた 瓦

金

拾

の

交

換

電

3

引

换

營

宣各

傳

自

動

車

換

上所所

月月

二日間に限り

電品

球

同同吉当司 林子們 發う

ででいる。 なんの なんの 数

11.00

(教化以遠の福州列車省略)

に對しては不便だか、これは何強が繰りに夜週いため旅客

歌打

て今ではきうやら雪滑圏内にて宗教家らしい熱心な態度で

はすつかり混乱状態に陥つて 氏が出たのですつかり怖氣づいてると、をの上に目前に入 れてると、をの上に目前に入 れてると、をの上に目前に入 は馬でオデャン・前門の狼、後 は馬でオデャン・前門の狼、後

が深夜であり又上り列車の闘時割が早朝であり副門着時刻

右によるき直通対車の新京競

₩ 10,000

た侵事の一手は信者を訪問して開奏士稼業に似合はず世間で開奏士稼業に似合はず世間ではず世間のようなのが、唯一のようなのが、「はいからの」が、「はいからの」が、「はいからの」が、「はいからの」が、「はいからの 新さいし

白米的特產的

常盤町三丁目五

0

0

佐藤宇治太郎氏

10.30

二十二列車(軽油動車)の運

右時刻改正の要點を吸ぐ

南滿北鮮直明旅客の利便 新京照們回)一住復に改い間直通飛客列車(當分の) 旅客列車一往復を新京清津 現行新示敦化而第一。一 間運轉するの除儀無きに至つ或事情の爲音林明月溝間を整 頃窓には直通せしめる確定で

た結果で商清津には十月中旬

歸順一丁旦三番地

會計員山口義人氏

大虎山皇 (10 三)

00.E

域さしては地方委員に選ぶな情内主任だがきても助かで講

よづ此の人であらう。 俸給 おきしての新い市民の立場で があるして見たいさい

利用を闘る 度台車を連結し一般乘客 には食堂車及び一二二二等 西本願寺でしめやかな一夜を 明した第〇〇嫁管デ

十分、下り急行五十分、上り新ぶ着十六時四十分が一時間

念行が二十分のスピードアツ

兵司令官、岡村参謀副長、吉前九時五十分體列車で田代憲明した第〇〇嫁替下故星野夕明した第〇〇嫁替下故星野夕 に悲しき凱覧の途に就いた。 澤總領事他官民多數の默禱費

車の数が多くなつてゐるのがブをしてゐる。又各等連結列

ひ之が緩和策さして軽油動ニ、糖京吉林間乘客増加に伴 四、敦化圖們間は現行第七 七一列車に相當する混合 車一往復運轉を増加

を表する。 本での 本での 10、10、100

五月以降一件の解害も無く旅

で多少世間から絶かれてめる 事質はないでもない、励綺氏 たるもの気護のうへは當分自 たるもの気護のうへは當分自 ての預馴染はあり、この點頗ない、が然し舊顔は旌顔さし かし観道事務別の庶務長さいな役目を利用して常麗は間像であるまい。これも大満域のお際様さ思へば一中山たる者

三十日在大沙、大連時報社员市内各方面に向けて同君宜し 三十日在大連、大連時報社員加藤金保氏の戦况を気遣つて 日本隨满八十五番地 **原體士 黒田 實氏**

加藤氏を聲援

次取戻したやうだ。熱心なり最初形勢はよくなかつたが漸

い――今度の候補者中で最年 日な方にかけては誰にも人後 に落ちない、がまだお歳も若 に落ちない、がまだお歳も若 少の三十六歳ー つへに昨年

板。いてもうんま用窓してるる板。なんぞらつさもせぬよ」ま大

んだがごうも解せない男だし

市民大 同業組合聯合會で決定

Ę の全浦商工會議所都合會に 合會臨時大會を新足に開催 き等の単に出づるものき祭 せもる

1 ラ

四〇ハルビシニ十九 達した ハイラル方面は丘に大雪ださの程が常地にシニ十九 發國通) 北浦の寒氣既に襲來し はや雪の訪づれ

強断がならねであらう。でも 今夕までの結果では常選は確 だ

▲講師 主催 ●講習料金五十圓治療士の免狀交附 十月一日より三日間毎夜七時より 創始者美座時中先生

新京日日 健 剃 協會 聞

九月卅日午後二時より於室町小學 **返演講**

誰れでも出來る保健と治病術

九月三十 滿鐵新京保安區 B 出サレタシ 採用ス、希望者ハ十月四日迄ニ鰻歴書提 新京在勤電話方十八名ヲ左記條件ニ依リ

年齡十五歲以 上二十歳迄ノ獨身

資格

「何、悲観するな、死力をむはるんく吉林から、脳付けてはるんく吉林から、脳付けてはるんく古林から、脳付けて

女子電話方採用募集

現代對 鈔票對金票

もなこまだ

けるの銀相場

いが。家の子郎徽選御大々事なく、きつと當選は常遠はな

を願出た 家人がや見り新い署へ捜査方

間も立派に出来てるる。列車してある。山口氏させもに人

六時での無断承出してゐるを本マサ〇100は11十八日午後本マサ〇100は11十八日午後

ふるさころあつて早々締をお で来たのは此の人のみだか考

本食堂の 雇女家出

宫城調明氏





『如何にも、其影響行當時課況心言をした、あの荒武者ですかい』

ワム彼似か。町本行で手荒い類目石、曹山主族である』

4、早速の承引 添ない。質

育山が大流を京精すとなったらいた生、からしたら何らでせらっ

實は唐大権兵衛が手金を打つて

職へ、操"は苗原三龍屋へ短遊安人を、奴奉公戍として姉はおのが人を、奴奉公戍として姉はおのがとして母嫌つたる部級基内の娘二

「で何でも際はねえ。金は搬み女で何でも際はれる。

現取って了ひやせう」

が、此一般は確に服受けやした」 をれてゐる。無易く服受けやした」 「マアそんな事にする事にして。

共名代をして質ひたいのだ』 一本と喧嘩したとあつては、一寸中 でない楽になる。ソコで其方に でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 がない楽になる。 でする。 でする。

から、 す時は、それこそ一大事である。

は日の酸にして、

す時は、それこそ一大事である。

本 大阪商船株式會社大阪商船株式會社 電話四一三七番 電話四一三七番 電話四一三七番

は、其が代って質ひたい

先づそれまで

ばいかる丸 十月 七日 で 港 丸 十月 三日 で 港 丸 十月 三日

X1 113 等船客股票

段備船 (大阪)行

| 大阪商船出帆

(職無上演) の一子十松は、若し土臓が翻翻ってする、窓い野郎ですな」

三碧の人 巧言に誘はれぬ

その吳

婦 人 科

話萊 三町

> 01 番目

·你中心中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中

りにる如し他の教を求めよ一黒の人 前後に虎狼の迫

随時往診の常に應す

堂脇サト子

れた事は、まだ一遍もねえの 人の娘お八重の命を助け、奴事がとして下げたを思に敬せ、必難し らんゆう 人の娘お八重の命を助け

は射共に代つて、喧嘩をやつ

お八重斯ち大院を奪ひ取り。

ソコで勢手が解本なんだ。公儀

電話三七二

商

祭日

野野野

サ

●一白の人 新事擴張は見合

日 一 月 十 日二十月八年

診療受付

正午より午後三時まで

科科

行銀洲滿

躍進、又躍進、遂に運輸界の覇權を握る

十十十二日

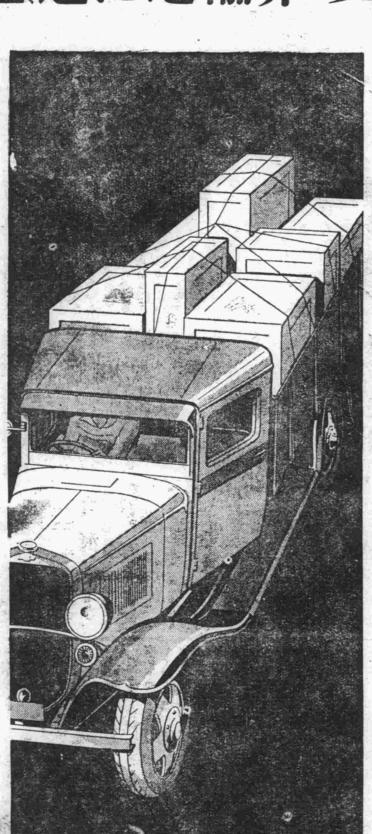
凡を運輸界でトラックと稱せらる」も のゝ中にガソリンの消費が經濟的のもの あり、オイルの消費が經濟的のものあり 或は維持費が經濟的のものもありますが 並に六氣筩車シボレーは何れにも劣らず 經濟的な六大特徵を有して居ります。新 シボレー・トラックは小型でもなく、軽 量運搬車でもなく、質に堂々たる强大な 力の理想トラックであります。驚くべき 積載量を有する堅牢なポデー……體裁良 く操縦安易な運轉手席……强堅なフレー ム……長い强靱なスプリング……確質、



丁を史

買





何卒下記シボレー特約販賣店にて新シボ レー・トラックの優秀なる特徴を篤と御 研究の上、御購入の程願上げます。

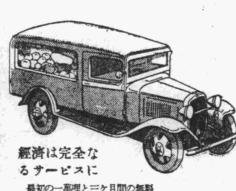
日本ゼネラル・モータース株式會社特約販賣店 UNITED MOTORS LTD. ユーナイテッド・モータース商會 奉天千代田通三七……電話 4737番 新京日本橋通五二一五四 … 電話 3872番

日本ゼネラル モータース株式舎社

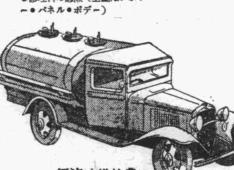


迅速作動のプレーキ……新ストラッドル 一・エンデンを具備して、他車の提供し 氣筩で而かも頭上弇式――これは强力と 經濟の重要特徴であります。

最近シボレー・トラックの賣行は他車 を壓して斷然トップを切つて居ります。 この事質は如何にシボレー・トラックが 經濟的運搬車として我が運輸條件に適し て居るかを雄辯に物語るものであります



最初の一萬哩と三ヶ月間の無料 サービス及び優秀なる技術に依 る修理料の低廉(上圏はシボレ -・パネル・ボデー)

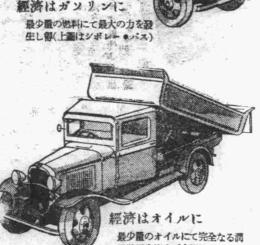


頑强なる機構は故障無く、十二 分の活動を持續す(上國はシボ レーのタンクのボデー)

本林堂醫院 マフテレフテル 御料來上

の御松 茸. 宴を 會加 τ 芳 御醇 淺薰 酌高 其 に, 味 4 將 食に 醋 T 12 2 祝 町 話三〇九〇 2 鮮 銀 愛 北 臨す

低廉重格にて提供される頭上算 式六気第(上圖はシボレー・ト



拘留

管理



職員後任に 北澤寫員製版所 新京曜町四九

局長かソ國 あきれたソ聯側の専横に 滿洲國極度 を任命 に憤慨

正成長の事務銀行上に支障率であるまころにして敢てソ聯を関係して代行せした。 起る可き機任問題さしても頑人のみを任命する事は暴寒も 西歐親交政策に のは明かに編州國明を侮辱す のは明かに編州國明を侮辱す のは明かに編州國明を侮辱す ツ折半の原則を 極度に憤慨して居る

「ハルビンニ十八旦美國通」

副成長及び副輝長をして事務 り氏に對し婦ツ國人を問はず

職務一頭に関し半

代行せしむるを當然さす

提言せるに對し管理局長と

近の招きにより近(フランス 近の招きにより近(フランス 近の招きにより近(フランス 近の招きにより近(フランス が問したフランス航空大臣カ が問したフランス航空大臣カ 「ハルピン仕八日韓國通」 一聯が腐心 はソ聯が對西歐諸國この友好が出した體をで、米國のソ聯が如何なる外交政策を以て今後世界殊に極東に臨むかソ聯の態度は列國の視聴をかり、大國のソ聯を対して今後世界殊に極東に臨むかソ聯の態度は列國の視聴を を訪問す

※「事件は純然たる司法上の問命するに至つた、右に觸し隣の事をに至った。右に觸し隣で専得にも、この作品

決然たる措置を執らんこす

ルビン

日、満、露人が

で専演にも、ソ四代選人を任ーデイは又々議別説倒に無断

簡案を提出してゐる 電相料值下

聞

運賃値下要請

ホロンバイル方面にも波及か

二、材木輸出稅撤廢

は相常階起さなつてるる様であるがり撃攻府ら對西歐諸があるがり撃攻府ら對西歐諸があるがり撃攻府ら對西歐諸 あ **り**

て来てゐる様であるからソ聯 らう。ソ聯が最近極東端ソ敏 境方面に大軍を集中してゐる さの説が頃々さして傳へられ てゐるかまさか我観を目的さ てゐるがまさか我観を目的さ して何等かの行動に出で 一最近一個も安定し

日

支問題を

ためさは 商議聯合會に 石崎、大垣

來る十月三。四項月哈爾賓に 於て開催される全端岡工會歸所 が6石崎副會長。大垣書記長 か6石崎副會長。大垣書記長 兩氏出席



電話を擔保で 金融組合が金を貸す 利子は二分五厘から二分七厘

一年大 を遂けてる ない、耐後 たから本件に就いては何等 の意思表示がない。我方よりは既に世間に養養した如く三 ケ係の要求をソい側に提出してるるがソ聯側は未だ我方の

氏は來る十月頃より本年度未 で北環管縁局長ルーティ氏に 要求したさころであらが、北 要求したさころであらが、北

北滿外交特派員來訪

動が開始さ

れる傾向にあっ

南陛下

施履本氏語る

十圓番號によつては九百圓で 村場は目下八百圓以上八百五 年年春頃に比すれば二百圓 以上の下落であ

燃だ、極度通々以て知られて るにソ帰側には今日迄のさこ の試食が認められないのは遺 レヤ政府の招きによりテヘラとであつたカラハン氏がペントのカンののたカラハン氏がペン 「東京州 P 發國 2) 葉山に御滯在中であらせられた 天皇皇后所陛下にはて列門して司機嫌魔して月版りで卸機嫌魔して言城に活御遊ばされた であるか。これに反して新京金融組合では電話を擔保さすであるが。これに反して新京金融組合では電話の質権を設定したものには一個につき発き相場の八百圓まで利率二分五厘乃至二分七厘で貸出してあるので、電話所有者で、

(=)

き在哈ソ聯婦領事スラウ 里の兩驛長等の拘禁事件 長ラウロフ、機務場行車鎖度が正然長カリーナ。同機車科北隣ソ弱幹部級の管理局機務

たがス端領事は不法行為を否 には政策的意味を含んである には政策的意味を含んである 法行為を行つた事が明白こな は経察権なり司法権の最動 さなるのは自明の理であらう さなるのは自明の理であらう であるのは自明の理であらう

長ラウロフ、機務場行車調を正原長カリーナ、同機車

外交特派員施履本氏は往訪り下ハルビン三十日教団語)

近では九月六日から二十九日 日平均一名の割で、現在組合 に於て擔保さして受付けてる おものは百個に及んであるが おものは百個に及んであるが 話 八百圓まで貸す 一不児 に見舞はれるさころから。電話金融 は盗々増加の傾向にあり。電話金融 つてぐる

次の寄附電話 來年四月頃か

り五百個で、目下のさころ新一覧話に千五百個かあるが現在の報話に一個あり、交換台の余 既に機械は獨逸へ注文 月中に納入し、三月頃まで

郷で、ロ蒲崎國に建議し目的 い、課税の統一整選 のとは問題が2、満的の問

STE X

の達成を聞ることになって 北鮮鐵道 けふから 滿鐵に移管經營 到の為世八日大連破京城に向行はれる北鮮管理局開闢式参行はれる北鮮管理局開闢式参 つたが承城に於ては北鮮移管 ド就丁満 以を代表して總督府

斯くて北鮮鐵道は窓々十月」の詳細な經過を報告し棚督文の 鮮鐡道局長さ打揃って總督府十九日富地へ刊着し、吉田朝 のハトで研京に開任した 卅日 ハトで 歸京

に宇垣總督を訪問し、

移臂に鍋し村上嶺鐵理事は二の決定を見た北鮮鐵道の礒鐵

菱刈司令官

△日本人向

L

于學忠軍 天津引揚げ

右に關し字垣總督語る

非常に重要なものであるか管した閾道は色々な意味で は誠に結構なぎで、今回移手續を順調に二丁したこさ 北鮮領道を講職に移管する 二十八日天津に引揚ぐるに至内に進出せしめつとあつたが一内に進出せしめつとあつたが一大場を保安隊に改稱して非侵入場を保安隊に改稱して非侵入場 滿河

維約は日文問題を持出して帰門會中の観察聯盟定期總官二次の「大九日の本會議で支那代表願」て 持出した顧維鈞 聯盟で相手にされず 沿びせたが光んご相手にされ てるない 回科い

名。工務所五十五名で務來都 かされる管である。 尚目 F 新 京にある電報。 電話局六十 は電報局八十名、電話局六十 A分増俸して支給されたの一十五日に便宜従ぶの俸給である。 又九月分給料は本役はなほ人員が増加するは対議の買收地に本社炒 6泊が瀟河昭剛の邦人最員には従来の給料より安くは 近には従来の給料より安くは 爾当時一躍大靈さなつた

韶國 文部省で記 害煥發十年 民精神作與

配家屯警祭署

廣石

遊不聲部補

に動搖の形勢はない

E

沙河口警察

大皇派記十日、國通)十一月 一年度記二十日、國通)十一月 一年は先帝が國、精神作戦の 日本官派に省額を明身配念方 日本官派に省額を明身配念方 遼陽警察署長

新泉警察署 依顧免官(三十日母) 日前) 本林等部補 本林等部補

れば、過期の東京州 、過段メキショのタッピー 加州公使よりの來職によ シコの 大暴風雨 鏡の通り卅日在メ

念方法協議

賞業部官制並に 万科規定改正

改正の要旨は部内に總務、長川日会布。即日施りされた。同部官制並に分科規定以正は 司に秘書、文書、庶務、職務、工商の四司を置き

のみで、今日まで辟合が最合は、俸給が高いた日本人局員は、俸給が高いたらうかさいたらうかさいた日本人局員は、俸給が高いた日本人局員は、俸給が高いた日本人局員は、俸給が高いた日本人局員は、俸給が高いた日本人局員は、俸給が高いた日本人局員は、俸給が高いた日本人局員は、俸給が高いた日本人局員は、俸給が高いた日本人局員は、 ■ 局及電報局工務所は、九月 一日成立以來事務を開始して 満州電信電話會計新尽中央電 長及課長の辭台内命があつた 定が遅れてゐるわけで今めその所者の振合ひ上給 も決らぬ 1 なった、之は大帝の舞斃生で、陛下に拜謁捧墓すること 十年は上梓々り總裁金子堅太中衆臨時帝室編輯局で編纂を た貴重な文献である 上旬着任の筈 「與京三十日發 通)大正三 明治天皇紀 二百六十卷 梓収る

清水警視初め 關東廳警官大異 虯

退官者は何れる漏洲國入り 派遣。救路に努めてある

牧田 警部 警部 の黑幕 神兵隊事件 安田鐵之助氏 の四時までは即寅を行ふ答覧買及び八日の午午後一時よ演奏。七、八埔日は生徒作品展

ある

高等科動物

件の背後には大阪財界有力者 安田中佐自首の結果神兵隊事 安田中佐自首の結果神兵隊事 自首す 皇國修養會

講演會

けふ太子堂で

新吊警察署

静井警部補 清水 警視

* 隐田井

武市警部補 開腦響腦翻

が動いて居るき戦られて告ろ 管内は二十七日午前零時頃初(安東雅)平北厚昌郡東與署 昨年より一週

安東に

8

位望の市営住宅 十月上旬に竣工す

新京市民の住宅壁を緩和するため市公署に於て建築を急いで居た市營住宅は念々十月上町役工する事まなり近日中に正式借入申込を受理した上公本なり抽籤を行ふこさもなつた。建築家屋敷及家賃はたの 近日中に抽籤貸出 (円)工戶 (円)工戶 (円)工戶 (円)四戶 (円)工戶 (土十順)

さしなつた

東州新競馬場で行はれるこ

るる状態であるが此の期にである状態であるが此の個のを續けて同の流筏努力に拘らず語をの個のを續けて

福岡縣人醫學博士深町穂積氏は豫で新来中の處此程竣工開業。二十九日十後六時から4亭曜で其披路を行つた。氏は明治で其披路を行つた。氏は明治で其披路を行つた。氏は明治で其披路を行つた。氏は明治で有力者の機械さして有名、聘せられて備料・國司法部警務司が設定して有名、聘せられて備料・國司法部警務司が設定して有名、聘せられて備料・國司法部警務司が設定したもので、専門は法署により、

本中田少佐(県東軍特務系)三十日午前九寺寺奉天へ 日平前九寺寺奉天へ る丸中縣(執政侍從武官)同上

▲加納大汽(第〇〇蘭泰謀長) 二十十日午後四時十五分穀 哈中人 ◆飯島三等職醫正(野砲第〇 ○除)河上 ◆女大"(步兵第〇〇〇隊長) 同上

月頃新設衛附電話を募集するに機械の取付けを終るので四 職員電話會社 名を招聘するここくなり十月大省より事務官。技師級十餘、海標局及は孫工府司長が新大田の職務司長は孫工府司長が大田の職務司長は孫工府司長が大田の職務司長は松島農林司 **別権度の五科を置く事さなり** 臨司に工務。電業、商務、註

像定である。

11 ビンの

「ハルビン二十八日競」通 大杆四方に響き渡る三十米の 高塔のモーター午報サイレン は經費約二萬五千圓也を以て 來春頃までに大ハルビン市内 に建設される事ごなつた、國 際都市のハルビンには日進月 れてるる

午報サイレ >

鴻業公司の

ド専校審事者は非常に力落した愁旨 開えんさしてゐた新 (安東發) 安東州等女牌校創 高女十周年

る。 尚は七日午前十時より何に単やかな勢り澤山な種目なの販やかな勢り澤山な種目なの販のなるとなったが、流石女學生 一日午前九時より職能される立十周の記念大運動會は十月 滿微軟式野球

附 新京驛日貞盛三男

口記念式を奉行。午後七片よ

寄

常興保管貨物左記ニ依リ競賣スー、期日十月五日一、期日十月五日一、期日十月五日一、期日十月五日 記念に西廣場小學校父兄曾へ氏は陶家屯轉動に際子女在學

十圓洛州

二十歳前後强建なる者市内保證人を

富 # 福田商店精米 部

歸國に付目下盛業中菓子工場を格安に讓 無菓子一 工場讓渡

渡します素人にでも可(製造法方は教授) 駅政府通り青木町

~

N

ピン競馬

日より

雪が降り忽ち新世昇さ化した

深町穂情博士が

事往

來

日本福通り

村上理事

廿八日京城

(九十五則) (四十圓) (五十五國)

の向ふ六日間ハルピン郊外市明競馬大會は愈々明三十日よいのの第一回秋

六日間

樺太材五萬ト

>

二 十六月(十六圓) 取集の特別を左の如く改正しの列車時刻の貨郵便の配達及の列車時刻の貨郵便の配達及 集配時間變る

で爾依氏の事業を助けらさう

取集時刻 配達時刻 の日本著名の材本商秋田商会では樺太材近馬順へ一順約さんさしてゐる。原本は十月上旬國《選輪安東支店を輝石到着することになつてゐるがかもる大量の着本は安東 港以來未曾有のことで新界の制持もまた大ならものがあ

校金千六百

圓を拐帶

り受領すべく立出でたまと勢 ・本は既に受取りで去つた を校長は領事館に間合せたろ を放長は領事館に間合せたろ をが長は領事館に間合せたろ をが長は領事館に間合せたろ をがまれた事利明、直ちに名 がに手配し捜査に着したが未 立安市新美學校に寄附された
の二十九日午前十一時での私
の二十九日午前十一時での私 千六点圓の金を安東領事館よ

新末中央連 四凡。

周素及司が新にいかかつてる は大同街の二階建八戸一棟台 十九日十段四時か6行はれ にが竣工は十月下旬の豫定で ある 貸家上棟式

州日の氣温最高一九度七分最 低光度二分じるの天刻南西の 天氣と氣溫

吹く風も冷たく病過ぎて十月に入る

い議例の秋は短かい、天高く馬肥へ

静かな

世三日

衛衛神社 夷副

小鳥狩り、町

概

食品

たこ。さわ

十日

雨

廿八 八 日

卒清6かに月明6

看土寒 行 降用露

二十 十二 日 日 日

三十日 教育功・一三十日 教育功・一三十日 教育功・一

里子"柿、栗。 竹、ほっれん草 が、総茸、 はず、

券さ引換へに投票用紙を受取

8

更衣。朝

花卉

爾月四日

柚子、百合

· 卉 菊、山茶花 下賜記念日

満州の冬ょおこづ やがて満日荒凉の やがて満日荒凉の ト月(大) 十月の季は 十月の季は

下賜記念日、八下賜記念日、八 日日 神嘗祭 毒趣 紅葉 フクシャ。 狩獵

鮮總督府始政記 八朔梅、梅るご 頭、コスモス 十 日 支那共和 田 ボルーガ 五 日 ボルーガ

地委戦に休戦喇叭

けふ愈よ最後の總决算 各候補苦鬪

日一月十年八和昭

戦塵漸や

治まる

地方事務所も大關心 倪

現在の立候補者を見る言舊委員さしては助崎。得丸。上田 すれば会正を誤らず滅域の諮問して恥かしくない。 異議徳堂を兼ね備つた立派な人士も砂を乗ね備つた立派な人士も砂を乗ね備つた立派な人士も砂を乗るがある。 新顔――同じ新顔さいつても酸排するここを得べくまた紫 **型機關さしての充分の機能が** 一全部一 新顔である

舊長春時代からの人き、 けふの選擧

(B)

京於田山石石在

伊東正夫君山

躄

B)

[H]

所霊島でもその成行きこう、教祭のそれであり、地方事務を登めるれであり、地方事務

新

日

日

京

午前八時開始

質くべき概器を記して見る。 の日だ、さあ誰力を選びませ 四時まで) お票時間は午前八時か6午後 ひふはいよく地方委員選舉 會場は室町板の講堂 これだけは心得て置きませう 戦守される はきつちり の割當が決められたものだ。 石のやり、各選奉事務所は行 てるやり、各選奉事務所は行 人つて左側一番向ふが日本人會場(霧堂)に入るこずつき這 校門をくぐつていよく選挙 ぐる家の子朗麟。いや卸大を

る永樂町。

昔の前影を全然一新しつもあ目下頻りに新築家屋輸出して

老松町方面、所謂を全然一新しつくあ

競馬場跡の工事も

便ら尠くないのでぜひ此際一 に結氷切に入れば居住者の不 なるない上

に訴へへ萬遺憾なくきれいに日も干く一般翻译者の道徳心

片付じるやう然局でも気をい

十六百八千

153

味

路田男

115

Ξ

並んでゐる。けふの戦况如何 爾側に各候補の選舉事務所が 議堂である。室町一丁目には の手前の人口が それに崩刑が人官吏

何分新楽工事中途の加減もあの建備をなすべく急いでゐる

手遅れきなつてゐるもいづ算の都台で時期の關係上や

地方事務所でも上下

水道

割方も完成

25

選擧會第(室町校)前の

前の立看板

M Di

てゐる。要は いづれもそれん~長所を備つ新ぶには初めての者もあるが

人物一 おいて母在の邦人立候網考 〔東京二十九日發地通〕 宮中観菊御 一月十日 の如何にあ 名、豫備委員さしてその次點

三、点。線等。 目印さなるも

三空叫一丁目裏通

富士町東四條通角 曙町二丁目

大和溫金光教前

迎して

を質施すべく一般観覧者を飲

大和通及東四條通

憲兵隊の

敬語及候補者の屋駅町名を

益齊療的體宿舍前

路月町及西一條通用

數島通及羽衣町角

露日町三丁目

西一條朔角

してもあつらむきださいつて振分けられてゐるので電話さ **庁はせられるに内定した 徳八百名を召され盛大に** 皇族、文武官、各國大会 十一月十日新宿御苑で 宮中郷恒例の観菊御會は 2 常庭の確定公示は常庭通告よび解任申立期間は五日以内で 日常選の旨を避知、異議およ常選者へは地方事務所から即 り七日目に行はれるこさに 00

の區別は左の如く、字を寄く投票用紙配入文字の有効無効 投票の 有効と無効

のを記せるものは無効 四二離某へ」又に「に」等の敬 語以外の文字を記せば無効 五。自分の名を記名せるもの は無効 、漢字の讀方を間違へて、 例へば「孫化南」を假名で し得るものという。 古んさせるものは有効し、通舶例へば得丸氏に得助し得るものは有効。

新築が出來ても

其儘

舊競馬場跡の不力

だらに

當局も耐郷

性尖らす

遅くも結氷別まもでには

除本部、新京附屬地。城內兩 明東憲兵除司令部、新京憲兵

以後は絶討その附近に立入行はれる故常日午前十時半 する事。 以外はなさざること も必ず保員の指示で行動

四洮線で

様に養着旅客。荷物取扱制限 上四洗線。及奉山線では左の 大四洗線がはなのベスト防疫に伴 客貨収扱制限

貨物(残産品、鑛産品、林田各職の、成成屯、黒水で含む以際(以戊屯、黒水で含む以際(以戊屯、黒水で含む以際)、大林間各時で、大林間各時で、大林間各時で、大林間各時で、大林間各 産品を除く)

ての心得第一項を守つて入場に正式に選舉の幕に入る即ちれ正式に選舉の幕に入る即ち 入口を這べる 必受り 損したるこきは地方事務別三、投票用紙を汚損し又は客 14 1.40 し誤字脱字なきやう注意す

れで萬事終り、ごく簡單であてこれさ思ふ被選舉人の氏名を配して投票函に入れるさそ を かんてるるごお��りを受けるが投票を終れば用がないか (二)二人以上の氏名を記載 たる投票用紙を用ひざるも(一)選集場において交付し

(六)投票を終りたるさきは (四)放選票権なき者の氏名 を記載したらもの (三)被選舉人の何人たるか

を受取り、被選舉人一人の氏名簿の動照を經て、投票用紙名簿の動照を經て、投票用紙の問題に到り、居住場の問題に到り、居住場の問題を認定している。

名を限り記載投票するこさを受取り、被選舉人一人の

開票時間

は

午後五時から

かうして常選決定

一つ打つても無効さなるので時人によつて手癖があつて點 投票者は充分注意すべきであ

利なる位置に變更すべく強てのが多々あるのでこれ等の不に何等の効果をも現はさぬも 完了を見たのでいよく一日調査中であるたが此程全部の りに一方に編して市氏の活用 ト位置のましてはあま

事さなつた 新位置

かつきまでふものでかくて委権内に入るまでには始終不安

員定員《日禰人合せて)十六 二、君、様、位階勳等殿等のがつきまさふものでかくて委 字は有効 ローマ字、點字、ロシア文のを除いてはいよくな選 二、片假名、平假名、漢字、

ては、喜一憂多分の自信あるいら行はれる、各候補に取ついは興味深意開票が午後五時投票に引續いていよく一般

けふの地委選擧には

爾集郵校寄宿舍

事變以後現在までの戦病歿者 各譯發着旅客、手小荷物。
「新京駐剳飛竹第○○○除では一二、奉山線馮家窩錦。通遼電 行する事になり目下その準備 月三日午前八時より同除で専 故福島少佐以下の慰癒祭を十 式典後爆撃演習を行ふ

兵器を一般終列者に參觀せし終了後同日午前九時から航空 〇〇機を以てする地上大爆撃め同十時より同飛行場に於て に忙役されてるるが、慰聽祭 山原打通ば各驛は生獣皮及二、前二號は外の四兆線及奉 貨物の取扱を中止す 農安の 牛獸類の受託を中止す 通ば各驛は牛獣皮及

四十四名 ペスト死者

大の如く希望してある 次の如く希望してある 治ほ同除では前記事項に就き 場所で見郷せられること門前で受付の指示で所定の 營内で兵器の観覧に際し 上げるこさになった を考慮し防疫方法さして三十

新兄の洗布に金は金四各地に 設立されん 染布商組合

常局の取締に 志 憧を示し且つ 出合組職がないため不統一で を組織すべく談可願を釈京署 目十八番地洗布商村田光信氏 るたか、二十九日富士町一丁

現るれた 議州映画 り 意研 化自 ・ 世 るれた 議州映画 り 意研 化自 ・ に は 世 東) に 於 て 閉 ・ に な 可 に が で 的 される漠様である 滿洲映志國策 研究會總會

長に申出でこれが引換を受 たの投票は無効につき注 内科亭、旅館、カフエー等のした二千八百八十四名でそのした二千八百八十四名でそのした二千八百八十四名でその いよく今日に迫つた新京地

百斤十名増加してゐるが。定 ポストの位置が

脹した人口の写新観されに著しく膨 京郵便局では従來

急

二字 附屬地分離二十五點 四等 司令部 一等 新京本部 は内分除 二十二個 七點四

▲個人成債 飛行隊慰靈祭

新京百貨店で

(五四)が巧みに良物二良、ツック製鞄を窃取し逃走中を新ック製鞄を窃取し逃走中を新いた。犯人は奉天で萬引六件を働きその他ハルビンで萬引を常習さし 所不定路人、コスマチョーフ本橋通新な白貨店晃服邸で住本橋通新な白貨店晃服邸で住 一、全瀬の

製革工廠 高砂町で

三日午前八時執行

なり、三十日商學士林泉清氏 近く同地に「晉與製革廠」を資 すべく近く日本から有力な技 すべく近く日本から有力な技 資會

甘萬

圓で

てる大規模の製革事業は全く方を依頼した、新京さしてかた、新京さしてか の案内で地方事務所水道係になり、三十日商郷士林泉清氏 最初のものであらうさ

二時より けふ午後

待ち

兼の

ウンドで計成すら事まなつた に 満州國ナームは全奉天を迎 に 満州國ナームは全奉天を迎 に 満州國ナームは全奉天を迎 グビー試合 滿洲國。全奉天ラ

有權者確定數 二千八百八十四名

(向上)三十九點 (向上)三十九點 (域內分除)三十九點 人攀饒成債 一等 附署也

(附屬地分除)四十一點

各方面よりその重要性を論響を映畵を検閲統一問題」は

よりその重要性を論議

快晴で出足は良かるべく昭和女主人の有權者が約四十名で 員が二名増加してゐるので一

11等

司令部

一十五點一

附屬地分除

容を明らかにし更に日本政府

中なりし渡水幸吉氏が任命る

開始する南新京輝に郷長さし

その規約中に映畵部の組織内され、國際顧問に於ては既に

に於ても近く今間局を設けて

健全なる検閲力針を以て新聞

箱は謎を深く秘めて沈默して ればくも焼ぶも今日一日 玉手 一人當り票数は百県あれば充 もつてゆくものさみて實際のが滿城の千票余りを根こそぎ く。殊に滿鷗社員會の三候補 人富りの票数は前回さ變化な

三零 新泉本部 二十二點七

十九點大

會の審議事項に彌州級政府機 禰州映攝戦策研究會に於ては

見玉明士の

節調を眞似され

5

き全國律々浦々にまでそり

自供で

全に、他にも相常の粒ぞりひ十た。他にも相常の粒ぞりひ十た。他にも相常の粒ぞりひ十余名大一座であっき

雑誌、映画レコード一切の検

分の間軽油動車のみに長るさりかもつたなほ詞驛取扱は當れ三十日新幹に赴き準備にさ

る倫関心の没置を建議し多透験さして民政系總長に直屬す

六年の確定数二千百三十三名 百九十七五に比し約七

したるもの

けふから變る

騎銃、暴銃の成績左の如くでら新見新射撃場で撃行された。新見新射撃場で撃行されたの際合射

→ 等 宮田曹長(司令部)

一等 宮田曹長(司令部)

四十二點

一等 中村曹長(附屬地分

第)四十一點

三等 有地曹長(新示本部)

三等 有地曹長(新示本部)

ある即ち現在提唱せられてる 水準を引揚けんごするもので 的角度より満の朝民の女化的

を發見

金州澤庵の

岩崎漬砌店

馬欄河で兇器

る檢閱局設置案の内容は

民政部總長の直轄下に置

では卅日午前兒を博士の自供 では卅日午前兒を博士の自供

青柳殺しの兇器短刀を競見し

遺物工場交信は新京唯一のと

領事館前に移轉した金州岩崎この程店舗狭隘の爲め朝日通

物専門店にして、同店日優い

露人萬引

著書。新聞。

雜誌其他一切

開河に捨てたるので博士らしたが迷惑の及ぶを吹れ馬 はしたが迷惑の及ぶを吹れ馬

事をゆるさぬ位安價にして現め最近は内地ものよりも品質州澤庵は内地ものよりも品質州澤庵は内地ものよりも品質

、檢閱方法は軍事。外交、 風數。社會。 一し前記憶入品をも新ぶで、全満の筬閥を新京にて統

> 留置場内の むづかひである

を使用し好評を博して居ら で見組合。市

中食料雑貨店等、盛にるの中食料雑貨店等、盛にるの

係機關を以て設置せられてる こするもので、 現在日 頭各闘 者を網維した陪審制度さす 學術の各權威

局内に移管せられるものであ る検拠合同委員會も當然檢閱

「大連出九日鼓媧通」去る二十四日來沙河口署留置場に拘留中の見玉博士は衛生研究所の友人適か於大れる三度の食事に今更の如く温かい友情を職しめ薄暗い秋冷えの留置場に金井博士差人れの毛布にくに金井博士差人れの毛布にくに金井博士差人れの毛布にくいる。博士は未だ夫人さ中国の高野の僧房で情死を闘つ たこさは知らず、最近は心も

「神の驚く

午後七時半

一。日曜四校

午前九時四

教會例質

新京日本基督

计分

朝拜

平前十時十分

電報の入つた二十九日は一回落智いて具管安靜を求め情死 「ペテロ研究第一論」 たします

さなたでも御出席を歓迎い

博士の胸に痛く響くに違いなので新たな打撃は傷ついた。 もなく過した。明ロは夫人情の取調べも受けず一日寢らご い博士は一週間に且る留置場 死の報が博士にも傳へられる り西条図誠忠碑前にて 新原日出時刻五時三千 日の出を拜す つざひ 5

新物い 是非御用 程期ひます 揃ひました 命

書きやき専門の 神分ないつもりですります。 神分ないつもりですります。 神分ないつもりですります。 神分ないつもりですります。 でのはなるでなりサービスは はなるでなりました。 一、流祇園さして永く世話になりまして一、元祇園さして永く世話になりまして一、元祇園さして永く世話になりまして一、瀟洲崎も生れて二歳になりまして 御知らせの質め御試食の方に記念品を呈し お知らせ 百 り八日までへ一週世 壽きや

南新京驛長 渡水幸吉氏 一日より假營業

生活にめつきり腹を谷川司法生活にめつきり腹を谷川司法 事を躊躇してゐる 紺屋高尾得意の

篠出實來演

、き全國軍や前やこまでも遊女は客に惚れたきさひ:

『他易不則』ピラ

東にてサービスするこの事業別、市中交後所、宣傳自動換へる由である、之は講世營の土地で新聞、日本の土地で新聞、日本の土地で新聞、日本の土地で、日本の土地で、日本の土地で、日本の土地で、日本の土地で、日本の

印刷物頒布

項

『事気の心得』パント

第十六類 一 玻璃球等

玻璃管

日の二日間は各ワットに拘ら問題系デー特典さして一日二

第四月香水、香柳树、

一粒下等

香袋、髮膏、

第五類

歯磨及他類に關せ

第二類 染料、顔料、媒染料、野門、 食籠、艾、黑燒、防腐劑、 編蟲、劑繍、帶綿防臭劑。 編蟲、劑繍、帶綿防臭劑。 編蟲、劑綿、帶綿

第二類 並

観を機さして各種經濟經數計観を機さして各種經濟經數計 世長振りに全く繁嘆すべきも 地長振りに全く繁嘆すべきも に言はしむればを満い一孤村 に至るまで電化せざまたきを

料金が低下するのは必然的である。電力需要が増加すればたる顧途は期待すべきものが期すさあるが、實に其の洋々

満電で各種 5 僅か十錢でガス 電 氣 週

けたが、全流を譲じて見れば を機さして素晴しい發展を発 金で宣傳びら数布。十錢電生行一日電氣デー市中デモ行 どり換いて 吳れる

具、眼鏡及算數器の類並其定。室眞、教育用の器械器十八顆(理化學、醫術、測

第二十四

野窩植及

煙火、水雷等線火柴」ダイナマ

綿火母」ダイナマイト」雷管大砲、小銃、獲銃、短銃、火欒

外科用器械、菌

· 顯微鏡等 · 與圖卷。體

體

0

電球と

彈丸及爆

印刷機。

器線、蓄音機、音譜盤、蓄琴、笛「ハーモニカ」撥乗を、笛「ハーモニカ」撥乗

三日 ラデオ放送午後七時 東軍特務部囑託槽谷氏 實業部孫商工司長請 所未定

近時満洲盛

三日 球交換

田田田

「新らしい電気の世界」場 医町小學校々堂 午後六室町小學校々堂 午後六室町小學校々堂 午後六

ラ其他の商品を賣出す由 等。 第十九種 Q工器具 第十九種 Q工器具 類用器具,顯微鏡 類用器具,顯微鏡

等.耗、釘拔、⇒键。編墨、中、間、鍬、稻炭、桑茂、中、間、鍬、稻炭、桑茂、中、九類 @LEB具

廻唐

標法

一類、化學品、樂劑及醫療すへき商品を指定すへしたの類別に從ひ中標を使用左の類別に從ひ中標を使用 同 施行細則

車(自轉車、小兒用車、航荷車、馬車、人力車、自動運搬;機械器具及具の各部運搬;機械器具及具の各部

字機、 間道車 車へ 自轉車。

-- 「サドル」

時計型其の各部 理。小兒用車。航 理・車輪「タイ

の各部附屬品

樂器。落音数並

ノーオルガンレーヴァ

縁品及各種の紐類

樂。 錠藥、煉藥、牛藥、藥油、 門、浸劑、 名利別、 前劑水 門、浸劑、 舍利別、 前劑水 原里設林、規那廳、 莫比涅 原里設林、規那廳、 莫比涅 高哨等 第二十二類

ル」及他類に感せさる4の「アルミニューム」は「ニッケル」銀「ブリタニヤメタケル」銀「ニット」は「ニッケル」の修造物 其の傾貴金屬の合於、鍍魚金。銀。白金、四分旬。紫鯛 品鲷

陸上競技決勝續き

體

會

關東州内が最高點

は石等 では石。 金剛石、珊瑚、真珠、瑪瑙及仙類に属せるる其の製品が十類、寶玉類、其の核造物 土 類 石 水晶、黄玉、碧玉、

第三類 香料及他類に屬せる第三類 香料及他類に屬せる。第三類 香料及他類に屬せる。第二類 香料及他類に屬せる。

第十三條 漆喰及土砂の類等十三條 漆喰でなメント」石膏、土産、大山灰等青、土砂、火山灰等 第十三條 漆喰及土砂 死及煉瓦の類器三磁器・七線 (株) 一部 (株) 一部 (株) 一部 (本) 一一 (本)

玻運並他類に屬せ

第十六類 ちは「エボナート」「カタベルチャ」「ラメーサブスチチュート」及地類に属せさる技の軟質製品 機類に属せるる機械器具及其の各部並各種の機器は、100円の大力を表現して、100円の大力を表現りでは、100円の大力を表現して、100円の大力を表現して、100円の大力を表現して、100円の大力を表現して、100円の大力を表現して、100円の大力を表現して、100円の大力を表現して、100円の大力を表現して、100円の大力を表現して、100円の大力を表現して、100円の大力を表現して、100円の大力を表現して、100円の大力を表現りでは、100円の大力を表現して、100円の大力を表現して、100円の大力を表現して、100円の大力を表現りでは、100円の大力を表現のでは、10

お、奉四點、新二點、 ・ 大一部(韓)二米〇三、二 ・ 大一部(韓)二米〇三、二 ・ 大一部(韓)二米〇三、二 ・ 大一部(韓)二米〇三、二 ・ 大一部(第)二十年 ・ 大一部(第)二十年 ・ 大一部(第)一八秒 ・ 大一部(第)(章) ・ 大一部)(章) ・ 大一》 ・

ボキュニピュポウカシイラベ駒嗣 三四二 ニュニ四六二 ニニ四八 三〇六〇二〇七〇〇三〇一八丘 シアハ中 4 タサタイヒスヒマア ジワ エセジョ ワラトラがマ it ビモビュラリチシメキスロ鯛 七二五六三五一二二二四〇七

鮮魚小賣相是

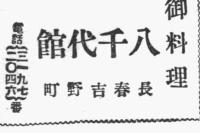
瑞西高級時計

スヱ 供 9 服

服の店 新京女學校制服調製所 十文字屋 電二七三〇番

秋

服 地 地 御



御注文は ……… おからだにシツクリさあつて 算盤に合ふ………… 店



新柄豐富入荷

直扱の運搬は 冬合 服服 電話三八七八番へ!!

高級品が揃ひました。配細型の 電話二九五二 製城金 近代的流行

通条一東春长 煖房●水道●衛生工事●佯灰加工 附帶工事●建材製造販賣 吉 洋 行

服"冬

服

の

粹を誇る

重細亜製靴會社

請負

工事

高級レデーメード 生地 裁斷 仕立 λ きつと御氣に召し 荷 工 ス ż ヤ す

并服店 電話二六二九番

一名古材省 分一秒一、二音 新京特別市三春陽東州(得點) 新八點、新川點、陽二點 合八百米リレー決勝 一者編東州一分三九秒二春奉一者編東州一分三九秒二春奉一者編集計 古二點 東京 格 初學ノ方(男女無難) ・ 資 格 初學ノ方(男女無難) ・ 明 間 自午後七時至・ ・ 研究料 ・ 研究料 ・ 一、別講日 十月四日 格 初學ノ方 (男女無嗣) 1 自午後七時至九時迄 日 十月四日 (申込久三百迄) 日 十月四日 (申込久三百迄) 日 十月四日 (申込久三百迄) 日 十月四日 (申込久三百迄) 日 一月四日 (申込久三百迄)

第二十五類 員綿。木棉綿。麻第二十六類 生絲。 絹絲。 人名二十六類 生絲。 絹絲。 人名三十六類 生絲。 絹絲。 人名納尔斯 医二十二類

第二十七類 綿絲第二十八知 毛絲第二十八知 毛絲類第二十八知 毛絲物第三十類 絹織物第三十類 糸綿織物第三十三類 毛織物 0 外から

トス」「ドロン、ウオーク」 絲類の場物、組物、撚物『レ |1]十三類に屬せるる織物第三十四類 第三十類乃至第

が助

用は

特約店

金城へ

管に十一哩、市俄古上空の成 はマグチシュームの合金製で オルミニュームの中さの約三 分の一、内部の宇宙線研究に必要な設備は凡炒る科學の終 心要な設備は凡炒る科學の終 上 の事な数量が見りる科學の終

たので近く國口名驛に應用せ橋内作業をすることに成功し橋内作業をすることに成功した。

然命魚味代を現出してゐる。 得る愛好熱が大いに擡頭、俄數年前日本命魚が米國に紹介」 數年前日本命魚が米國に紹介

等魏丕智(爾)二等川野(新)四等程士安(新)二等白春育(古)等提世安(新)二等白春育(古)等提世安(新)五等白春育(古)等于清溶(關)三等日本(古)。 一等即用較(新)五等日春(古)四等平川(新)五等县市、大寨川野(新)(得點)爾一點。 古人點。新京四點。 古人點。新京四點。 一着李世昭(奉)五四秒七。二 看浦野(爾)三着王永安(黑)四百米次勝。 古三點。長三點。黑四點

新京前 一、 1○講演教政の御日常に就て 瀬京前 一、 1○講演

三一圓圓 日曜祭日午前中但シ 四二號號 內內科科

急患者ハ此限ニ非ズ 四二圓圓

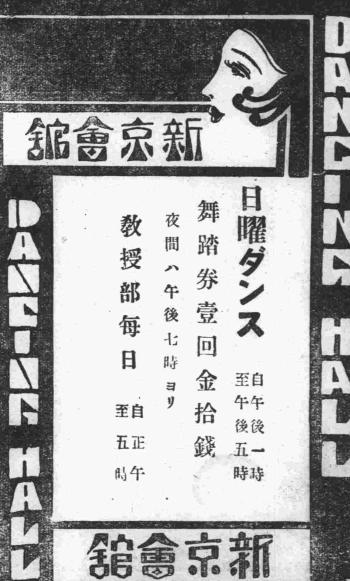
腎 院

醫

各種印刷で製本印刷機械及材料 卸小賣 電話 ~ 三四 北原紙店

市內運搬等材料運搬

丸正運送店



鉛會 京。

勘解由は、暗い餌をして胸こまうむ……』

一夜、休息しては……」

子供ジャケツ

行

すぐに行かれるか。今夜

『そこもと、みて多られたか』 『とおもつて胸館へ立寄りましたと とおもつて胸館へ立寄りましたと ころ、アレキサンテル鍵の要は見 いころ、アレキサンテル鍵の要は見 いころ、アレキサンテルをのじるがひ は く安酷の海へまつたものにちがひ は

0

『悪のため、おのれを殺して赴い たものであらうが、でも、気の歌

るのだった。

さて、例館表へ別報して、

如如

如

吉

ょ

暖

かっ

3

鄉百五十四回 **院轉載上映及上旗**

寺

柾

布

長

船

Z

こんどは物解曲の方で、黒船温の一位一件を物語つた。実立器の一位一件を物語つた。実立器がよみのいきさつを語りながら機の口ごもつた。 また くったられ 気をかけ、わしも、 たみ くったられ 気をかけ、わしも、 たみ くったられ 気をつかつて、 やなみ くったられ 気をつかつて、 やなみ くったられ 気をつかって、 やなみ くったられ 変をかけ、わしも、 たみ くったられ 変をかけ、 たん とは ……』

『ところが、太夫……』

思いるたみで胸腔表へ参るものと信い。 ふたみで胸腔表へ参るものと信い。 を対すっとれを持らけて、きつ出します。 り命を賭して敷ひ出します。 りゅを賭して敷ひ出します。 いや、それどころか。 きつと、あのフランス 年 としるてやります』 「うむ、よくいふてくれた。わし

新京将察者告示第七號

喉科

布吉事兹定於十月五日起施行臨時種痘见保護者及養務者須於該日早十點鐘起同晚二站鐘止前所定之場所接種種痘(該電定明種痘者種痘及檢疫)但已生過痘瘡者不在此限仰爾各界人等一体知悉特此布告。 演受臨時種痘者 (一) 向未受種痘者但生徒未滿九十日者不在其內(二) 雖在第一明種痘已受種痘不善感者及該禽第二明種痘主、支種痘者

廣告の御用は

電話三二〇〇番

公

主 堂

院長醫學博士

募集、見習看護婦ン

今

田

電話

芸商 疆店

新京日本協領七二

目科療診

淋巴腺炎

淋菌性諸疾患

梅毒性諸疾患

整形及

一般外科

育膓

炎

疾

脫

疾 患 入院隨時

新京梅ケ枝町四丁目二番地

宣

勝馬投票券 景品附入場券

複響式各金五圓

毎日各競走毎に發賣

金一圓

一一週

法社 人團

臨

常整橋•甘井子•金州•旅順•より星ヶ浦競馬場門住日 九月 廿四日(日)三十日(七)

場まで乗合 十月

飛合自動車の割引あり 11m(月) 雨天順延

髙 山勝 司

昭和八年九月二十日昭和八年九月二十日昭和八年九月二十日昭和八年九月二十日昭和時まり午後三時応指定場所の於テ福遠(定明報痘談當者、種痘及險痘)ラ受クシムへシ祖遠(定明報痘談當者、種痘及險痘)ラ受クシムへシ (世) を (地) の 新以地方事務所是 荒 木 章

ルニ付テハ該書者、種痘及檢痘ヲ受クラルへ 昭和八年九月二十九日 昭和八年九月二十九日

シを合示ア

材工 新京日本情

華洋

大連競馬俱樂部 新高の 日満親善は…… お散歩に

院馬 #時開始

建

お芝居に

映画に

電話 長二〇三六番

會合 阿 JII 組 新京日本橋通

工學士 中福前田野島地 設計部





婦人セーター 弊店のショウウイ 新衣裳は…… 新京寫眞通信社 電話二二二七番 ンドーか スカー 5

825

その無點はもう時館にはをりま

武七郎は、

七郎は、話頭を轉じてそのこ

のまゝ遠く立去つたものとみえま『婉館へ赴いたとみせかけて、そ

そ

エー・ ない 紫帯は一切フランスの中心でかい 紫帯は一切フランスの中心でかい 紫帯は一切フランスの中心で

タ渉はあつた。

B)

が、フランス士官からその話がご武七郎は苦々しく家老をみつめ 手を貸さうとの意向であるらしい

がセンターのみが有する光榮 帝國發明協會表彰有功賞を獲得せるは斯界に於て獨り我 八年度型新入荷 (
在庫豐富) 七 圓

洋

りを成り

当回へるとい

より

隨入

意院

梅ケ枝町十四番地

電話三四九三番